

米国カリフォルニア州 南部の山火事と風で農場に被害

[FreshPlaza](#) 2025年1月16日

ロサンゼルス郡とその周辺の南カリフォルニア地域では現在、山火事に苦しんでおり、住民だけでなく農業部門にも直接的な脅威をもたらしている。

カリフォルニア州アルタデナ地域に長年住み、ゾーシアン農場を営むジュリア・ゾーシアン氏は、「イートン火災」により40エーカー(約16ヘクタール)の農場がほぼすべて焼き尽くされ、生計手段と受け継いできたものの両方が大幅に失われたと報告している。1940年代に設立されたこの農場は、農業教育を提供し、柑橘類やナッツ類を生産するなど、コミュニティの基盤であった。この破壊によって、80年にわたる努力と創造の集積を失ったゾーシアン家は再建について慎重に検討している。

ロサンゼルス食品政策評議会のアルバ・ベラスケス事務局長は、現在、約24の農場がイートン火災による課題に直面しており、状況は日々悪化していることを強調した。これらの課題には、炎や煙の直接的な影響だけでなく、地域の食料システムの根幹を脅かす経済的影響や大気質に関わる懸念も含まれている。

カリフォルニア州農業者協会のピーター・アンセル氏は、煙が人間や動物の健康だけでなく、ワイン産地のブドウ園の収穫量が大きく影響を受けた過去の例を挙げ、作物自体にも脅威を及ぼすことを強調した。

同様に、カリフォルニア州ムーアパークのアンダーウッド農場のクレイグ・アンダーウッド氏は、ロサンゼルス郡のファーマーズマーケットの空気質の悪さと危険な状況が売上の減少につながったことによる経済的負担を指摘した。また、この農場は停電に見舞われたほか強風によりレモンの果実に傷がつく可能性が有るため、経済的な影響も強調している。

サンディエゴ郡では、大規模な火災はないものの、強風が農場にかなりの被害をもたらしている。パウマバレー地域で柑橘類とアボカドを栽培する4代目生産者のアンディ・ライアル氏は、強い「サンタアナ風」によりアボカドの収穫量の約50%を失ったと報告している。この損失は、同郡にとって重要な作物であるアボカドの今後の春と夏のシーズンの供給に影響を与えると予想されている。

これらの出来事は、農業部門が、地域の生産者のサプライチェーンと経済的安定の両方に影響を及ぼす自然災害に対して脆弱であることを強調している。

出典: [ABC News](#)

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)